

令和 3 年 第 6 回
富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

令和3年5月27日(木)

開会午後3時30分、閉会午後3時47分

II 場所

富山県民会館611号室

III 出席委員

1番	山崎 弘一	2番	鳥海 清司	3番	町野 利道
4番	村上 美也子	5番	大西 ゆかり	教育長	荻布 佳子

IV 説明出席者

教育次長	清原 明宏	教育次長	坪池 宏
教育企画課長	松井 邦弘	生涯学習・文化財室長	吉田 学
教職員課長	福島 潔	県立学校課長	佐野 友昭
小中学校課長	水戸 英之	保健体育課長	橋本 隆

V 傍聴人数 1人

VI 会議の要旨

午後3時30分、教育長が開会を宣する。

1 会議録の承認について

(令和3年4月22日開催の令和3年第5回富山県教育委員会会議録)

会議録閲覧

荻布教育長から可否を諮ったところ、全員異議なく承認した。

2 報告事項

(1) とやま科学オリンピック2021の開催について

教育企画課長より説明した。

(2) 令和3年3月高等学校卒業者の就職状況について

県立学校課長より説明した。

3 その他

今後の教育委員会等の日程について

教育企画課主幹から説明した。

4 議事

○報告事項について

報告事項(1)関係

[鳥海委員]

・新型コロナウイルス感染症防止対策において、実験室では、今まで1つの机を4名～8名で使っていたものを2名～4名にするということになると、全体で募集数を減らすという方向で対応するということになるのか。

[教育企画課長]

・高校部門で実験等があるが、富山大学と総合教育センターの会場数を増やし、2名～4名で行い、チーム同士の間隔を広くできるような形で対応したい。過去5年間の参加者数の推移をみると、全体で1100～1200人くらいの参加があり、今回も6月に入ってから募集をかけるが、それくらいの規模になるだろう。その中で中学校部門については、資料にあるとおり4つの高校で開催し、高校でも2つのホールを使用し、できるだけ教室や実験室を多くとって対応していきたいと考えている。

〔鳥海委員〕

- ・心配するのは、普通教室と違い実験室では机の数が限られていることである。これまでも、会場を見に行った時に、実験室の机は全部使い、いっぱいやっている感じがした。一つの机の人数が減ると全体の募集数が減るのかと思ったが、逆に場所を増やせたということはよかったと思う。

〔教育長〕

- ・縮小ということではないということですね。

報告事項（2）関係

〔町野委員〕

- ・毎年全国1位となっているが、他県と富山県との違いは何かあるのか。

〔県立学校課長〕

- ・相違点について他県の状況等は把握していないが、本県においては、産業界の協力、各学校における同窓会・教育振興会などのご理解ご協力など、チームで取り組んでいるのが強みではないかと個人的には考えている。

〔町野委員〕

- ・他県では1000人のうち20人が就職できないが、富山県では1人しかいない。しかもその1人も今年4月で就職されて100%というのは凄い。

〔教育長〕

- ・皆様のご努力のおかげでこのような結果に結びついたと思っている。

○その他教育行政一般について

〔村上委員〕

- ・これから夏場に向かう、そしてコロナ禍であることにおいて、体育や部活動において、マスクによるそして換気が不十分であることによる熱中症や命に関わる症例がいくつか全国で報告されている。小中学校などでも体育の時に「マスクをしなくてもいい、でも、してもいい」という個人に判断が任せられる中で、マスクが本当に原因かどうか分からないが、ちょっとしたことで命を落とす事例もあり、熱中症に関しては十分注意されたい。WBGTで危険といわれている日に関しては、マスク着用云々に関わらず体育や部活動については、慎重に対応していただけるようお願いしたい。

〔保健体育課長〕

- ・委員が言われたように、部活動の時にも、見学をしている時等はマスクを着用し、実際に激しい運動をする時はマスクを取るような形で、コロナ対策をしつつやっている。一番重要なのは、去年も文部科学省から通知があったように、熱中症対策をしっかりすることである。水分補給をしたり、過剰なマスクをすることは避けるなどの指示はしてきている。こちらから去年は通知をさせていただいたところだが、また時期が来たら改めて通知をさせていただきたい。

午後3時47分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。